

米軍ヘリ墜落事件に関する本学の組織的対応（8月13日～）

2004年8月13日（金）・・・事故当日

- 14時15分頃 米軍ヘリ（CH53D）が本館ビルに激突し、墜落・爆発・炎上
企画課・学長室・会計課・電話交換室等へ甚大な被害を及ぼす
- 14時18分～25分 職員および学生 緊急避難、3号館1階ロビー等へ誘導
米軍により本館周辺は強制封鎖され、立ち入り禁止
- 14時27分 宜野湾市消防が現場へ到着・消火作業開始
- 15時08分 宜野湾市消防により火災鎮火（その後、現場検証を拒否される）
- 15時20分 米軍ヘリ墜落事件対策本部を設置（第1回 対策会議）
メンバー：学長・常務・法学部長・図書館長・経済学部長・
産業情報学部長・事務局長・庶務課長・広報課長
協議事項：沖縄国際大学 緊急対策本部の設置
本部長に学長、副本部長に金城常務と富川部長を選出
現時点での学生・職員の安全を確認
緊急声明を発表することを決定
- 16時00分 第2回 米軍ヘリ墜落事件対策会議
協議事項：本館への立ち入りを決議 / 緊急声明の原案を作成
- 16時30分 本館立ち入りを求めたが、崩落と引火の危険性があるという理由で
立ち入りを拒否される。現場は米軍・警察・マスコミ等で騒然。
米軍ヘリ墜落に対する緊急声明を発表
- 17時00分 第3回 米軍ヘリ墜落事件対策会議
協議事項：記者会見にむけての対応を協議
宜野湾市との合同会見とすることを決定
- 17時45分 合同記者会見を実施し、強く抗議（5-209 教室）
出席者： 宜野湾市長・学長・本学ヘリ墜落事件対策本部関係者
- 19時00分 第4回 米軍ヘリ墜落事件対策会議
協議事項：各課からの現状報告と明日（14日）からの対応について
14日の学内行事・講義等は通常どおり行うことを
確認し、その旨、学長告示とすることを決定
担当部署に対して連絡の徹底を指示・確認
- 19時30分 沖縄県警・米軍現場担当者等との交渉の結果、緊急時持出用重要
書類 及び 私物等運び出しのため、一時的に本館へ立ち入る
- 23時00分 法的措置として「現状維持・証拠保全の仮処分申請」を検討

米軍ヘリ墜落事件の起こった8月13日から10月15日（組織移行）までの約2ヶ月間、「米軍ヘリ墜落事件対策本部」は本会議を計12回（緊急調整を数十回）開催し、今回の事件に対する本学の組織的対応の意思決定機関・対外的窓口として機能した。

8月14日（土）

- 09時00分 第5回 米軍ヘリ墜落事件対策会議
- 09時30分 防衛施設庁関係者と共に墜落現場へ立ち入り（10分間撮影）
- 10時00分 石井防衛施設庁次長、対策本部を訪れ、お見舞いの言葉を述べる
- 15時15分 沖縄県警本部長・宜野湾警察署長宛てに「現場検証・事後処理に関する要請書」を提出
- 17時00分 第6回 米軍ヘリ墜落事件対策会議
- 18時00分 渡久地学長が本館ビルへの立ち入りを正式に許可される（10分間）
- 20時50分 情報ネットワークが一部回復・HPによる情報発信を準備

8月15日（日）

【県内新聞2紙の同日付朝刊に「米軍ヘリ墜落事件対策の現状報告」を掲載】

- 10時00分 米軍による機体撤去のための事前調査に、沖縄県警・宜野湾市消防と共に同行し、本館・事故現場に立ち入る。ビデオ・写真により被害状況を記録（同映像・写真等をマスコミに提供・配信）
- 13時00分 第7回 米軍ヘリ墜落事件対策会議（被害状況報告）
- 16時10分 防衛施設庁職員と協議（一刻も早い大学機能の回復を要求）
- 19時50分 第8回 米軍ヘリ墜落事件対策会議

8月16日（月）

- 07時00分 米軍、墜落ヘリの機体撤去に向けた作業を開始（～8月19日）
- 08時00分 米国海兵隊・法務部より沖縄県警に対して合同捜査拒否回答
- 08時40分 米軍が大学の許可を得ないまま、現場周辺の樹木伐採を開始
- 10時00分 日本政府・外務省・防衛庁・防衛施設局・米国総領事館・沖縄県への抗議行動（抗議文書を手渡し、抗議）
- 10時45分 在日海兵隊基地副司令官J・フロック准将らが来学し、学長へ謝罪
渡久地学長がフロック准将へ直接抗議を行う
- 13時30分 米軍ヘリ墜落事件対策本部 報告会
- 15時52分 墜落ヘリの機体の一部（尾翼部分）搬出
- 16時00分 本学HPからの情報発信を開始「米軍ヘリ墜落事件に関する情報」

8月17日(火)

- 10時00分 第9回 米軍ヘリ墜落事件対策会議
13時00分 米軍ヘリの機体搬出・県警との合同捜査拒否に対して抗議
13時00分 学生・教職員・地域住民に対する精神的ケアについて要請
本学・総合文化学部教授会による抗議決議

8月18日(水)

- 09時00分～ 本館・事務部門の機能移転作業を開始(本館ビル使用不能)
14時00分 第10回 米軍ヘリ墜落事件対策会議

8月19日(木)

- 12時20分 米軍による墜落ヘリの機体撤去作業が、ほぼ完了
13時50分 本館周辺・事故跡地の管理権限が米軍から沖縄県警へ移る
16時35分 沖縄県警による現場検証終了
16時35分 沖縄県・環境保全課が土壌調査のためのサンプルを採取(1回目)
17時35分 2次災害防止のため、那覇防衛施設局 及び 米軍が事故跡地周辺に
安全柵を設置(作業終了時刻:20時50分)
本学・法学部教授会による抗議決議

8月20日(金)

- 09時15分 普天間飛行場より米軍ヘリ19機が離陸・飛行再開
10時00分 理事会を開催(状況報告)・理事会による抗議声明を公表
14時00分 全教職員への説明会(全学説明会)を開催
16時00分 学生・保護者への説明文書「米軍ヘリ墜落事故について」を発送
16時35分 沖縄県・環境保全課が土壌調査のためのサンプルを採取(2回目)
本学・経済学部教授会 及び 産業情報学部教授会による抗議決議